さがみはら60 まだまだつながる 市制施行60周年

「伝えよう!」

未来へつなげたい、さがみはらの魅力

Chapter 5
Convey the present, past and history!
The attractions of Sagamihara we wish to pass on to future generations

Sagamihara started out with a population of eighty thousand in November 1954. Overcoming numerous issues—including rapid population growth, military base issues and mergers—the city became a government ordinance city with a population of 720,000 in April 2010.

As a government ordinance city, we look back with pride on our community development efforts, which have produced steady progress toward a solid future.

第 5 部
今昔、历史
“传承！”
面向未来相模原的魅力

1954 年 11 月，相模原市起步时人口仅有 8 万人。我们解决了人口急增与基地问题、合并等各种课题，
2010 年 4 月，向政令指定都市转型，已经成为人口超过 72 万人的城市。
作为政令指定都市一相模原，我们经常回顾面向未来扎实发展的
相模原市迄今为止的街区建设。

市マスコットキャラクター
「さがみん」

緑区

さがみはら今昔物語

SAGAMIHARA MEMORIAL

戸建ての住宅密集地から、都市型住宅街へ。30年余りですっかり表情を変えた橋本駅周辺は感慨深い…。また、新旧の道志橋・日連大橋周辺は豊かな緑を今につないでいます。

相模原IC

小倉橋（昭和40年）

相模湖地区・与瀬

旧相模湖町与瀬地区（昭和19年頃）

新道志橋と旧橋脚跡

旧道志橋（昭和34年）

日連大橋

旧日連大橋（昭和35年）

橋本駅周辺

今 Present
昔 Past

橋本駅周辺（昭和59年）

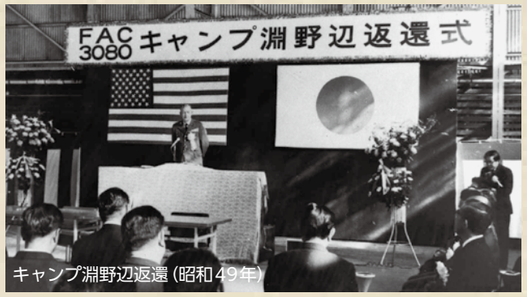
中央区

さがみはら今昔物語

SAGAMIHARA MEMORIAL

ペデストリアンデッキがシックな現在とボンネットバスが並ぶかつての光景の対比が印象的な相模原駅。木造の旧市庁舎周辺ののどかさ、相模川の鵜飼にも、ときの流れを感じます。

キャンプ淵野辺跡地



キャンプ淵野辺返還（昭和49年）

市役所周辺

旧市庁舎周辺（昭和30年）

鮎漁解禁

相模川での鵜飼風景（昭和37年頃）

撮影：江成常夫氏

上溝すずらん通り

上溝すずらん通り（昭和30年代）

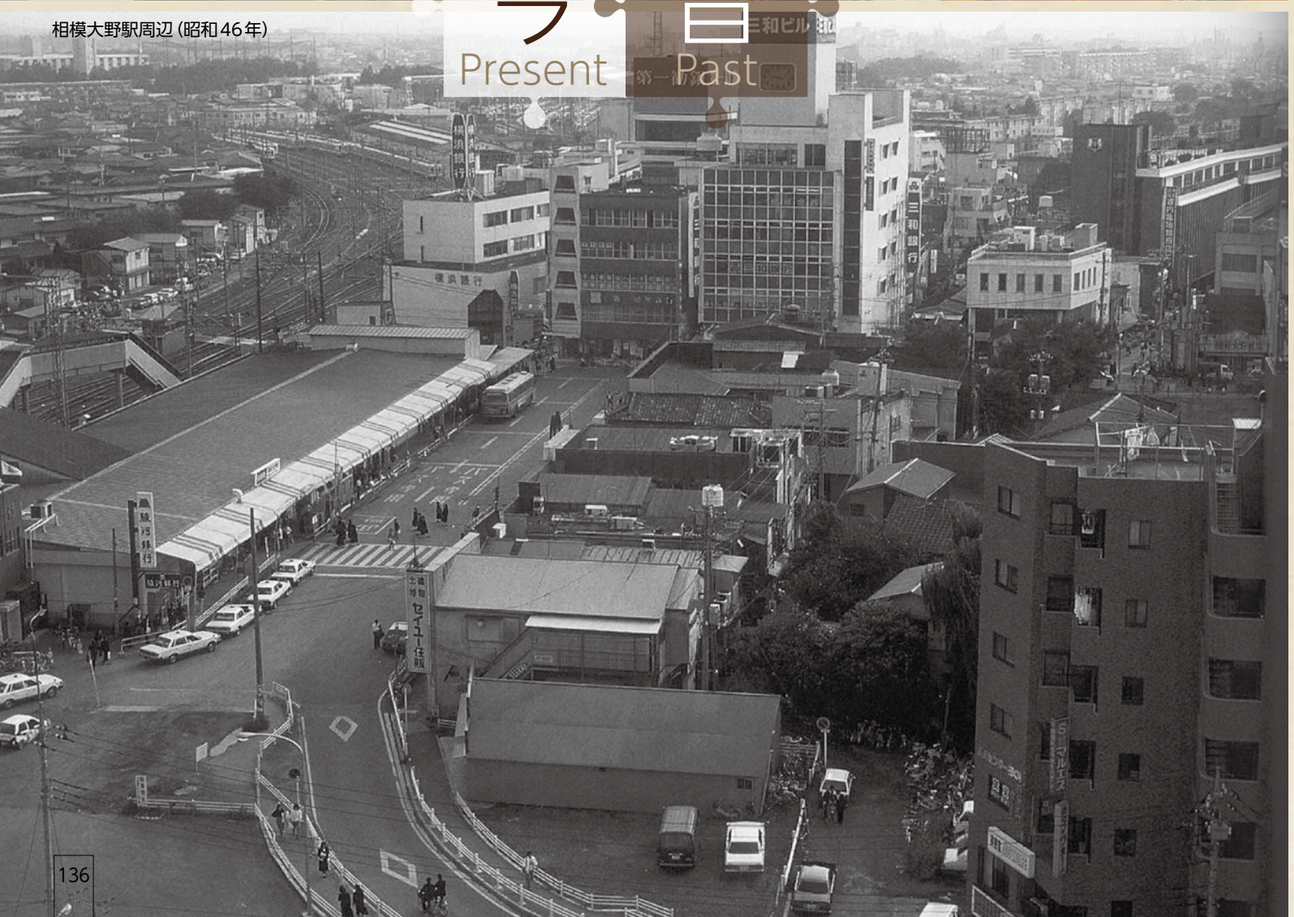
今 Present

昔 Past

相模原駅前

相模原駅前（昭和33年）

相模大野駅周辺



今 Present
昔 Past

相模大野駅周辺（昭和46年）

さがみはら今昔物語

SAGAMIHARA MEMORIAL

南区

昔の相模大野駅周辺はビルが並び思いのほか立体的で、平面的な街並とは一線を画しています。真新しい相模原愛川IC付近の今後の変化が注目されます。

小田急相模原駅周辺

小田急相模原駅（昭和23年頃）

国道16号古淵付近

国道16号古淵付近（平成元年）

相模原愛川IC付近

昭和橋開通式（昭和６年）

砂利採集跡地付近

相模川での砂利採集（昭和８年頃）

歴史で
つながる
さがみはら
明治～昭和

TSUNAGARU

明治22年の市制町村制施行が、地域の新たな礎に！

大正初期　消防出初式　上溝の市場通りに整列

昭和14年　相模陸軍造兵廠創立一周年記念式典（矢部）

大正10年　相模川の帆かけ舟

荒川吊橋（津久井町）

明治41年　開通当時の淵野辺駅

昭和21年　赤褌姿の水泳部（田名）

小松川の改修工事（城山町）

5層構造の吉野宿本陣（藤野町）

昭和22年　昭和天皇相模湖行幸（相模湖町・与瀬駅）

相模原

（明治～昭和28年）

1868 ▶ 1953

明治22年	4月	市制町村制の施行　座間村、新磯村、麻溝村、田名村、溝村、大沢村、相原村、大野村が誕生
明治41年	9月	横浜鉄道（現JR横浜線）開通。淵野辺駅・橋本駅開業
大正10年	6月	田名～下九沢～橋本バス路線開通
昭和12年	9月	陸軍士官学校が座間村に移転
昭和13年	3月	小田原急行鉄道の相模原駅（現小田急相模原駅）開業
	4月	通信学校駅（現相模大野駅）開業
昭和16年	4月	２町６か村が合併し、相模原町誕生
	4月	相模原駅開業
昭和23年	9月	座間町が分離

城　山

明治22年	4月	市制町村制施行　川尻村、湘南村、三沢村が誕生
明治41年	9月	横浜鉄道（現在のJR横浜線）の東神奈川～八王子間が開通
昭和　6年	7月	川尻石器時代遺跡、国指定の史跡に
昭和13年	7月	小倉橋架け替え
昭和17年	3月	県営谷ヶ原浄水場開所

津久井

明治22年	4月	市制町村制施行　三沢村、中野村、太井村、又野村、三ヶ木村、青山村、長竹村、根小屋村、鳥屋村、青野原村、青根村が誕生
明治35年	10月	津久井郡立蚕業学校（現県立津久井高校）開校
明治42年	5月	青山村、長竹村、根小屋村が合併し串川村が誕生
大正　9年	5月	荒川橋の完成
大正14年	4月	中野町が誕生

相模湖

明治22年	4月	市制町村制の施行　小原町、内郷村、千木良村、与瀬駅が誕生
明治34年	8月	中央線与瀬駅（現JR相模湖駅）が開業
大正　2年	4月	与瀬駅が与瀬町に改称
大正　7年	8月	柳田國男他郷土会による内郷村落調査
昭和22年	6月	相模ダムの完成、日本初の人工湖・相模湖が竣工

藤　野

明治22年	4月	市制町村制の施行　吉野駅、小渕村、沢井村、日連村、名倉村、牧野村、佐野川村が誕生
明治29年	12月	吉野駅大火
大正　2年	4月	吉野駅が吉野町に改称
昭和15年	11月	日連村勝瀬地区離村式
昭和18年	7月	中央線藤野駅の開駅式

昭和45年　東海大学付属相模高校
全国高校野球大会優勝パレード（市民会館前）

昭和46年　市役所通りでのデモ（中央）

昭和29年　市制施行

昭和49年　第1回市民桜まつり（市役所前）

それぞれがまちの特長を生かし、昭和から平成へ

昭和29年　上溝駅付近の街並み

昭和37年　荒川集落を峰の薬師から撮影（津久井町）

平成2年　京王橋本駅開業を祝う鼓笛隊の演奏

昭和33年　県立相原高等学校（橋本）

昭和55年　国鉄橋本駅新駅舎落成式

平成10年　かながわ・ゆめ国体夏季大会メーン会場（横山）

平成15年4月　中核市に移行

（昭和29年～平成17年）

1954▶2005

相模原

昭和29年	11月	相模原市誕生、10月1日の人口8万374人、予算規模は約2億2千万円
昭和30年	7月	工場誘致条例制定
昭和45年	8月	東海大学付属相模高校野球部甲子園初優勝
	12月	相原高校が全国高校駅伝大会で優勝
昭和49年	4月	第1回市民桜まつり開催
	11月	米軍キャンプ淵野辺が日本政府に全面返還
	11月	市の鳥に「ヒバリ」、市の花に「アジサイ」を制定
昭和50年	3月	『こども急増びんぼうはくしょ（相模原市財政白書）』発行
昭和54年	11月	市民憲章制定
昭和56年	4月	米陸軍医療センターが日本政府に全面返還
昭和58年	3月	商業振興ビジョンを策定
昭和60年	10月	中国・無錫市と友好都市提携
昭和62年	8月	人口50万人突破
平成 3年	5月	カナダ・スカボロー市（現トロント市）と友好都市提携
平成 4年	10月	グリーンウェーブ・相模原'92開幕
平成11年	1月	田名向原遺跡、国指定の史跡に
平成12年	4月	保健所設置（「保健所政令市」へ移行、ウェルネスさがみはらオープン）
平成13年	11月	総合写真祭「フォトシティさがみはら2001」開幕
平成15年	4月	中核市に移行
平成16年	11月	市制施行50周年

城　山

昭和30年	4月	川尻村・湘南村・三沢村（中沢地区）が合併し、城山町が誕生
昭和44年	6月	皇太子殿下が城山ダムと城山発電所を視察
昭和49年	10月	第1回観光産業まつり（現もみじまつり）を開催
昭和63年	7月	小倉橋のライトアップ（夏期）が始まる
平成 4年	4月	第1回城山町緑化まつりを開催
平成10年	10月	かながわ・ゆめ国体炬火（きょか）リレー
		かながわ・ゆめ国体秋季大会ホッケー競技開催
平成12年	8月	小倉橋の灯ろう流しが30年ぶりに復活
平成16年	3月	新小倉橋が開通

津久井

昭和30年	4月	中野町・串川村・鳥屋村・青野原村・青根村・三沢村（三井地区）が合併し、津久井町が誕生
昭和32年	1月	尾崎記念館（現尾崎弓堂（ぐうどう）記念館）が完成
昭和40年	4月	城山ダムが完成し、津久井湖が誕生
昭和56年	5月	文化福祉会館が完成
昭和61年	10月	第1回津久井やまびこ祭り開催
平成 3年	4月	カナダ・トレイル市との友好都市提携に調印
平成10年	10月	かながわ・ゆめ国体馬術競技開催
平成12年	4月	鳥居原ふれあいの館（やかた）が完成
	12月	宮ケ瀬ダム建設事業竣工式
平成15年	11月	第1回尾崎弓堂弁論大会を開催
		緑の休暇村「いやしの湯」がオープン

相模湖

昭和30年	1月	与瀬町・小原町・千木良村・内郷村が合併し、相模湖町が誕生
	9月	第10回国民体育大会ボート競技を開催
昭和39年	10月	オリンピック東京大会カヌー競技を開催
昭和57年	4月	相模湖自然公園ふるさとの森オープン
平成 6年	11月	第1回甲州街道小原宿本陣祭開催
平成 8年	8月	第1回相模湖町民レガッタ開催
平成10年	9月	かながわ・ゆめ国体ボート競技開催
平成12年	4月	県立相模湖交流センター・相模湖記念館がオープン
平成13年	4月	さがみ湖リフレッシュセンターオープン
平成16年	4月	小原の郷オープン

藤　野

昭和30年	7月	吉野町・日連村・名倉村・牧野村・佐野川村が合併し藤野町誕生
昭和43年	12月	中央自動車道の八王子IC～相模湖IC間が開通
昭和46年	12月	石井家住宅、国指定の重要文化財に
昭和58年	12月	陣馬山・相模湖周辺が県立自然公園に指定
平成 3年	5月	郷土資料館「ふじや」（現吉野宿ふじや）開館
平成 7年	10月	県立藤野芸術の家オープン
平成 9年	4月	藤野やまなみ温泉オープン
平成10年	10月	かながわ・ゆめ国体山岳競技開催
平成12年	3月	日連橋開通
平成17年	4月	学校法人シュタイナー学園（構造改革特区）開校

合併の記録

自然と産業が調和し 人と人がふれあう 活力ある自立分権都市 相模原

平成15年	7月	相模原市と津久井郡４町で「市町村合併に関する調査研究部会」を設置し、合併についての調査研究を開始
		津久井郡の４町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
平成16年	1月	城山町長、津久井町長、相模湖町長が相模原市長へ合併協議を申し入れ
	4月	任意の合併協議会である「相模原・津久井地域合併協議会」を設置（相・城・津・湖）
	11月	藤野町長・議員・町民を委員とする「藤野町市町村合併推進協議会」を設置
平成17年	1月	津久井町長、相模湖町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
	2月	藤野町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
		「相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会」（法定協議会）を設置
	3月	相模原市・津久井町・相模湖町が合併協定の調印
		相模原市・津久井町・相模湖町の合併関連議案を各市町議会で可決
		相模原市長、津久井町長、相模湖町長が県知事への合併の申請
	4月	「相模原・津久井地域合併協議会」（法定協議会）を設置（相・城・津・湖）
		「相模原市・藤野町合併協議会」（法定協議会）を設置
	7月	県議会の議決（相・津・湖）
		県知事の決定・総務大臣へ届け出（相・津・湖）
	8月	総務大臣の告示（相・津・湖）
平成18年	1月	相模原市・藤野町が合併協定の調印
	3月	「相模原・津久井地域合併協議会」を廃止（相・城・津・湖）
		相模原市・藤野町の合併関連議案を各市町議会で可決
		相模原市長、藤野町長が県知事へ合併の申請
		相模原市・津久井町・相模湖町 合併（３月20日）
		城山町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
	4月	「相模原市・城山町合併協議会」（法定協議会）を設置
	6月	相模原市・城山町が合併協定の調印
		相模原市・城山町の合併関連議案を各市町議会で可決
	7月	相模原市長、城山町長が県知事へ合併の申請
		県議会の議決（相・藤）
		県知事の決定・総務大臣へ届け出（相・藤）
	8月	総務大臣の告示（相・藤）
	10月	県議会の議決（相・城）
		県知事の決定・総務大臣へ届け出（相・城）
	11月	総務大臣の告示（相・城）
平成19年	3月	「相模原市・城山町合併協議会」を廃止
		「相模原市・藤野町合併協議会」を廃止
		相模原市・城山町・藤野町 合併（３月11日）

新「相模原市」誕生

相模原
城　山　津久井
相模湖　藤　野

TSUNAGARU

平成19年３月11日　相模原市・城山町・藤野町合併記念式典

平成18年３月20日 相模原市・津久井町・相模湖町合併記念式典

相模原市・城山町・津久井町・相模湖町市町村合併シンポジウム

相模原市・藤野町合併協議会

(平成 20 年～ 26 年)

相模原

2008 ▶ 20 14

平成20年　6月　新しい総合計画の基本構想を策定
平成21年　4月　新型インフルエンザ対策本部を設置
　　10月　さがみ風っ子教師塾を開塾
平成22年　3月　市民公募のシティセールスコピー「潤水都市 さがみはら」が決定
　　4月　**全国で19番目の 政令指定都市に移行**　緑区・中央区・南区の３区を設置
　　10月　市長とワーシンスキー在日米陸軍司令官が相模総合補給廠（しょう）の共同使用に関する覚書を交わす
　　11月　潤水都市さがみはらフェスタを開催
平成23年　3月　東日本大震災発災　災害対策本部会議を開催
平成24年　2月　緑区イメージキャラクター「ミウル」をお披露目
　　6月　銀河連邦が、「はやぶさ」が帰還した6月13日を「はやぶさの日」と制定
　　8月　市ホームタウンチームを認定
　　8月　「こけ丸」を市シティセールスサポーターに委嘱
平成25年　3月　相模大野駅西側地区市街地再開発ビル「bono相模大野」、ユニコムプラザさがみはら、さがみはらアンテナショップ「sagamix」、相模大野パスポートセンターがオープン
　　3月　緑区合同庁舎がオープン

シティセールスサポーター「こけ丸」

緑区イメージキャラクター「ミウル」

平成22年4月　政令指定都市移行宣言式

平成25年3月　相模原愛川IC開通　プレイベント

平成21年10月　政令指定都市移行に向けたPR看板の除幕式

ますます暮らしやすく、ぐんぐん発展を続ける都市へ。

平成25年　3月　圏央道相模原愛川ICが開設
　　9月　JR東海から「環境影響評価準備書」が送付され、リニア中央新幹線の神奈川県駅の具体的な位置が「橋本駅付近」と示される
　　10月　小田急相模原駅北口Ｂ地区市街地再開発ビル「ペアナードオダサガ」がオープン
　　10月　相模総合補給廠（しょう）北側外周部分の一部返還が日米合同委員会で合意
　　11月　SC相模原のJ3への昇格が決定
平成26年　4月　市マスコットキャラクターが「さがみん」に決定
　　9月　相模原総合補給廠の一部が日本政府に返還

市マスコットキャラクター「さがみん」

平成24年8月　市ホームタウンチーム認定式

平成24年6月　はやぶさの日制定

平成25年3月　緑区合同庁舎オープン

平成24年11月
潤水都市さがみはらフェスタ

平成26年11月
相模総合補給廠一部返還セレモニー
（潤水都市さがみはらフェスタ）

平成26年11月
銀河連邦から「はやぶさ2応援メッセージ」を届ける
（潤水都市さがみはらフェスタ）

相模原市民憲章

わたくしたち相模原市民は　相模野の広い台地　相模川の雄大な流れ　先人より受け継いだ開拓の精神や伝統を誇りとし　敬愛と協調を高め　住みよい風格のあるまちへの限りない発展を願つて　この市民憲章を定めます

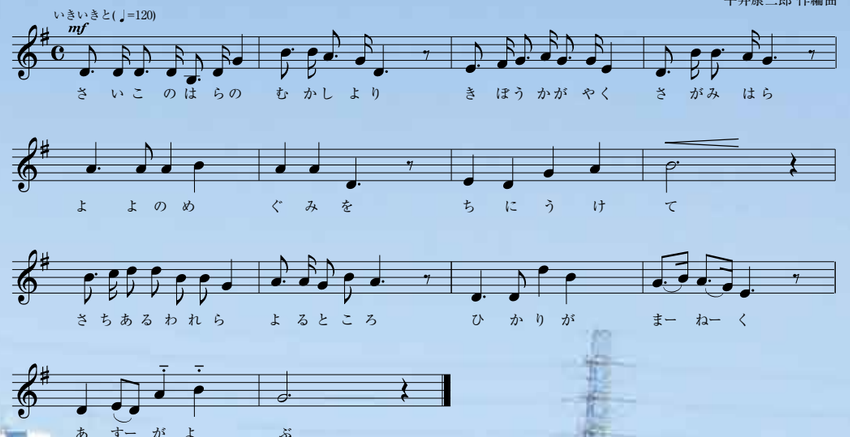
1　青い空　あふれる緑　澄んだ水　うるおいのあるまちをつくります
1　いのちを大切にし　思いやりと笑顔で　明るいくらしを築きます
1　心とからだをきたえ　はげましあい　希望をもつて働きます
1　ものをだいじにし　きまりや約束を守ることを誇りとします
1　おたがいに学びあい　豊かな市民の文化を育てます

昭和54年11月18日制定

相模原市民の歌

相模原市教育委員会制定

植村　栄輔 作詞
勝　　承夫 補作
平井康三郎 作編曲



一、柴胡の原の昔より
希望輝く相模原
代代の恵みを地にうけて
幸あるわれら寄るところ
光が招く明日が呼ぶ

二、実りの波は野に丘に
夢も燃えたつ相模原
青雲高く生産の
平和のけむりたつところ
建設の歌わきあがる

三、ながれは清くゆうゆうと
絵巻はひらく相模原
季節のいろをちりばめて
文化の花の咲くところ
われらがまちに栄あれ

発行：相模原市　広聴広報課　☎ 042-769-8200
発行日：平成26年11月20日
企画・デザイン・印刷：タイヨー印刷株式会社